

放送収入が好調を維持 すべての事業セグメントで増収を達成

売上高

630 億

7千9百万円

(前年同期比+8.4%)

営業利益

26 億

6千3百万円

(前年同期比+11.6%)

四半期純利益

15 億

8千9百万円

(前年同期比+119.2%)

1株当たり中間配当金

12.5 円

総資産

933 億

9千1百万円

純資産(自己資本比率)

685 億

9千9百万円

(71.5%)

1株当たり配当金

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。
1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標としています。
(2015年3月期 期末配当予想) 1株当たり12.5円(年間配当は1株当たり25円)

地上波放送事業(株テレビ東京)の放送収入が引き続き好調で、特にスポット収入が二桁増となりました。BS放送事業(株BSジャパン)も二桁増収で成長を続けております。グループ会社が構成する放送周辺事業も増収増益となったほか、インターネット・モバイル事業(株テレビ東京コミュニケーションズ)も増収増益となっております。

2015年3月期 業績予想

売上高 1,274億円
(前年同期比+5.6%)

営業利益 53億円
(前年同期比+11.4%)

地上波放送事業

■売上高 **503億4千万円**
(前年同期比+7.2%)

■売上比率 **66.9%**

■営業利益 **9億4千7百万円**
(前年同期比-3.8%)

【連結子会社】
(株)テレビ東京

放送収入のうちタイム収入は、レギュラーセールスでのベースアップに加え、「2014 FIFAワールドカップ ブラジル大会」の開催やテレビ東京開局50周年特別番組のセールス等も堅調に推移し、260億4千6百万円(前年同期比+6.3%)になりました。スポット収入は、シェアの高い広告主の出稿増や新規広告主の獲得、販促企画によるシェアアップに成功し、142億4千1百万円(同+11.1%)となりました。番組販売収入は、『YOUは何しに日本へ?』をはじめ、ゴールデンタイムの番組を中心に売上が伸びましたが、19億4千1百万円(同-6.6%)となりました。ソフトライツ収入のうち、映像部門は主要タイトルの

発売日変更の影響で減収となりましたが、店舗・商品化部門はテレビ東京キャラクター「ナナナ」のグッズ販売が好調でした。映画事業は過去タイトルの追加印税があったほか、アニメ事業は国内商品化が好調に推移して売上を伸ばしました。一方で「虎ノ門市場」等のEC事業を(株)テレビ東京コミュニケーションズへ移管した影響もあり、ソフトライツ収入全体では、52億7千9百万円(同-13.2%)となりました。イベント収入は、全国公演の「スターズ・オン・アイス2014」が順調だったほか、「世界卓球2014東京」も日本選手の活躍もあって好調となり、14億5千2百万円(同+86.7%)となりました。

放送周辺事業

■売上高 **162億9千8百万円**
(前年同期比+6.6%)

■売上比率 **21.7%**

■営業利益 **10億7千1百万円**
(前年同期比+11.6%)

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック/(株)テレビ東京メディアネット/(株)テレビ東京コマース/(株)テレビ東京アート/(株)テレビ東京システム/(株)テレビ東京制作/(株)テレビ東京ダイレクト/(株)テレビ東京ヒューマン/(株)テクノマックス/(株)テレビ東京ビジネスサービス/(株)エー・ティー・エックス/TV TOKYO AMERICA, INC.

音楽出版関連は、国内印税収入の伸び悩みが続いたことにより、(株)テレビ東京ミュージックの売上高は14億4千2百万円(前年同期比-7.6%)となりました。CS放送関連では、アニメ専門チャンネル「AT-X」の加入者数が横ばいにとどまったものの、堅調な広告関連売上がカバーしたことにより、(株)エー・

ティー・エックスの売上高は26億9千7百万円(同+6.9%)となりました。また、通信販売関連は、『なないろ日和!』を中心としたテレビ通販が好調を維持し、歴代最高のヒット商品も出たこともあり、(株)テレビ東京ダイレクトの売上高は38億9千6百万円(同+14.8%)となりました。

BS放送事業

■売上高 **68億6千8百万円**
(前年同期比+13.9%)

■売上比率 **9.1%**

■営業利益 **12億7千5百万円**
(前年同期比+47.8%)

【連結子会社】
(株)BSジャパン

放送収入はスポットセールスが好調だったほか、『日経プラス10』のセールスも順調に推移するなど、レギュラーセールスも底上げされました。また、『世界卓球2014東京』や各ゴルフ中継など特番セールスも好調に推移しました。

一方、費用面では放送収入の増加に伴う代理店手数料の増加、番組の充実を図るための番組制作費の増加がありました。

インターネット・モバイル事業

■売上高 **17億5千8百万円**
(前年同期比+75.4%)

■売上比率 **2.3%**

■営業利益 **1億2千9百万円**
(前年同期比+127.2%)

【連結子会社】
(株)テレビ東京コミュニケーションズ

インターネット・モバイル事業では、てれともばいる、スヌーピーなどのスマートフォン向け課金事業が堅調に推移しました。また、ネット広告では、5月に開始した広告型無料動画サイト「テレ東プレイ」にてオリジナルスピノフ動画を積極的に投入したほか、EC事業ではテレビ東京キャラクター「ナナナ」関連商品の拡販に注力しました。